

# 生ける水

発行者  
日本福音教会連合  
岡山市福浜町7-2  
理事長  
太田正信  
編集  
編集委員会

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

## 目次

P.1	聖霊降臨日に寄せて ……	倉賀野 攻
P.1	時の声	
P.2	加藤博重先生の告別式にて ……	田代正司
P.2	加藤博重先生を偲ぶ ……	亀谷荘司
P.2~3	牧師の一言 ……	稲田敏朗
P.3	主にある同労者 加藤博重先生の思い出 ……	松田幾雄
P.3	加藤博重先生の思い出 ……	平井 猛
P.4	報告・案内 etc ……	

# ペンテコステ 聖霊降臨日に寄せて

岡山中央キリスト教会  
牧師 倉賀野 攻

聖霊降臨日(ペンテコステ)おめでとございます。教会には一年間に三つの大切な日があります。

クリスマスは、みんな知っています。イースター(復活祭)は、一般の人でも少しは知っています。聖霊降臨日(ペンテコステ)となると、ほとんどの人が知りません。

神様の聖い霊が降って、聖霊の時代となり、私達一人一人に聖霊が降り、聖霊に満たされるといことは、すばらしい恵みです。この恵みを多くの人々にお知らせしたいと思います。

また、この日は、キリスト教会の誕生日でもありますので、心からお祝いしましょう。

最初の聖霊降臨日(ペンテコステ)の様子は、使徒行伝第二章一―四節に記されています。

私達の罪を負って十字架で死んで下さったイエス様は、復活して、四〇日目に天にお帰りになりました。それから弟子達は十日間、聖霊を求めてひたすらお祈りをしました。

すると突然聖霊が降ったのです。この時から聖霊の時代に突入しましたので、著しい現象がともないました。

第一に、激しい風のような音が響きわたったということです。「風」は、神様の息のことです。神様の霊のことを意味しています。

神様は、最初の人間を土のちりからお造りになつて、息を吹き入れなされたこと創世記に記されています。神様の霊、聖霊をいただいたのです。

ところが人間が罪を犯し、神様にそむきましたので、聖霊を失ってしまったのです。

しかし、イエス・キリスト様が私達の罪を背負って十字架にかかって死んで下さり、私達の罪をゆるし、きよめて下さいました。その結果、もう一度、神様の息、聖霊を吹き入れて下さったのです。

第二は、舌のようなものが炎のようにとどまったという

のです。炎は、私達の罪を焼きつくします。また、あたたかい神様の愛の炎でもあります。聖霊をいただき、聖霊に満たされることは、神様の愛に満たされることにはかなりません。



シナイ半島レビデムにて (中央 加藤博重師)

第三に、弟子達が、いろいろな他国の言葉で、イエス様の救いを語り出したのです。丁度、イスラエルは、五旬節というお祭り、世界各地に居住していたイスラエル人が、大ぜいエルサレムに来ていました。それらの人々が、

それぞれわかるような言葉を弟子達は語ったのです。意味のわからない異言ではなかったのです。

又、「他国の言葉」ということを「今まではとちががった言葉」というふうには解釈しているのを聞いたことがありません。

今までは、この世のことや、不平不満や、ぐちを語っていただけなのに、聖霊に満たされ

ますと、今まではとちががって、神様の御言葉や、信仰的な言葉や、感謝の言葉や、イエス・キリスト様の救いの言葉を語るようになります。

今日は聖霊の時代ですから聖霊を切に祈り求めて、聖霊に満たされたいと思います。

聖霊が、神様の愛を運んできて下さって、満たして下さいます。

「聖霊によって、神の愛がわたしたち心に注がれているからである」(ローマ人への手紙五章五節)

## 時の声

「米百表の精神」で国家百年の為人材養成に力を入れているのかと思つたら、それも改革の口先だけだ。国民の保険料を横領無駄遣いの社会保険庁も、天下りで税金の無駄遣いした防衛施設庁も官僚自身の保身防衛だけで、公僕的奉仕、国家防衛の精神はない。こんな腐った所の改革はせず、権力を振り、独裁を誇っている口先だけの人間は誰だ。こう言う人間の特長は優位者には弱く、弱者には強い。大義なき武力優先、自国産業優先主義の米国に隷属し平和の大切さを説くことも出来ない。在日米軍再編では日本の立場の代弁者ではない。沖縄海兵隊グアム移転予定では費用百億ドルの七五%の負担を求められ、応じなければ移転延期と脅されている。思いやり予算も含め毎年四千億円を支出し、米国の武力支配主義に協力し、国内の弱者には痛みを求める改革なき五年だ。大戦でアジアで命を奪われた二千万の魂の軍国主義象徴の靖国参拝反対の叫びには耳を傾けない。軍事主義化に反対し、弱者に目を留めた平和を祈らう。

# 加藤博重先生の告別式にて

湘南教会

信徒 田代正司

「主に感謝せよ。主は恵み深く、その憐れみは永遠に絶ゆることなし。」「われ山にむかいて目をあぐ、わが助けはいつこより来たるや、わが助けは天と地を造り給える主から来たる。」「主を畏れる者に主の賜うその憐れみは大いにして、天の地よりも高きがごとし。」

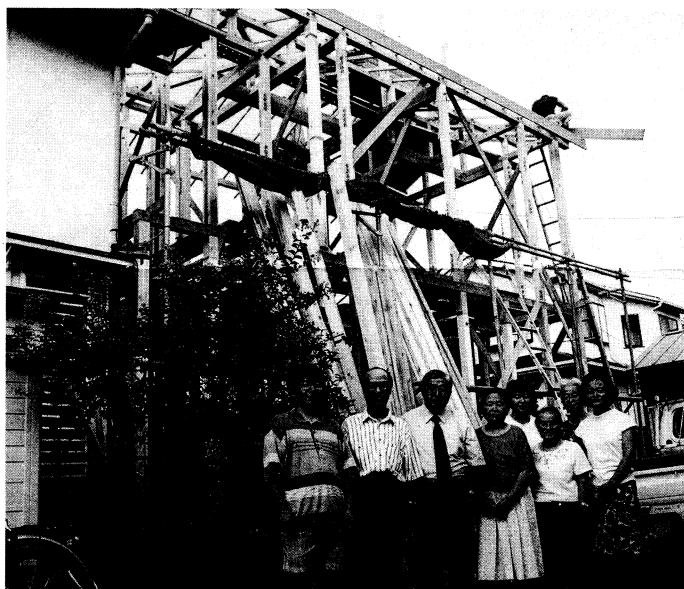
主にありて敬愛する加藤博重牧師。ここに湘南教会を代表し、哀悼の意を表します。

先生は昭和六十一年四月一日、湘南教会に就任され、今日まで長きにわたり我等を励まし導き、全能にして限りなき御慈愛に富み給う神、キリストの道を説き、懸命にして、その熱き思いと働きは、我等教会員一同の胸を打つものがありました。

又私し如きは八年前に、骨折から院内感染症にかかり、三ヶ月の入院のやむなきに至りました。その際にも幾度か御言葉をたずさえ、見舞って下さいました。「恐れてはならない、わたしはあなたがたの神、主である。」「わたし自身と一緒に行くであろう、そしてあなたに安息を与えるで

あろう。」手術前、祈る、神癒、加藤牧師。このように御言葉を書いては、祈りを捧げて下さいました。その祈りは聞かれ、神様は私に力を与えて下さいました。何とか闘病の末、

何ともあたたかく、益々会話がはずむ。二人とも七十才の定年まで、理事をつとめました。このような思い出が、次から次へとやえ返って来る。あの頃は先生も私も元気で、



前列中央 加藤先生御夫妻、その左 筆者

その病を癒され、帰宅することができ、感謝でした。

又日本福音教会連合の理事会には、加藤先生と二人で毎年岡山に出かけました。新幹線で車窓の景色を楽しみながら、弁当をひろげて食べる。

年令なぞ少しも気にすることなく、立ち廻っておりまして。それから時は流れ、このところ先生も随分弱られたように見受けられましたので、心配はしておりましたが、あまりにも突然な召されかたで、

ただただ驚き、教会員一同黙して天を仰ぐ。人はいずこより来たりて、いずこへと帰ってゆくのであろうか。肉なるもののはかなきは、野の花のごとき、朝に咲き輝いたといたしましても、夕べにはしほんで枯れてしまう。しかし霊は神の御手にゆだねられ、まことのふるさと、天の御国に帰ってゆくことを、我等は確

## 加藤博重先生を偲ぶ

検見川教会

牧師 亀谷 莊 司

加藤博重先生のご召天を万感の思いをもってお見送りいたします。

先生は昭和四年東京で生まれ、昭和二十年、麻布獣医専門学校（現麻布獣医大学）ご

在学中に米軍の空襲で腕を負傷されて埼玉原秩父に疎開されました。その後キリスト教に入信、二十二年五月受洗されました。大正十五年生まれの私は、前年に洗礼を受けましたが、ほぼ同じ頃に生まれ

同じ頃にクリスチャンになったのです。そして創立したばかりの日本福音教団に前後して加入してお互いに二十代から責任役員として奉仕してきました。先生は静岡県、兵庫

県、倉敷市茶屋町、岡山、湘

信しております。「御国に着く朝いよ高く、恵みの御神をたたえまつらん。」地上の奉仕を終え、今は神の御手の中で、安きを得ておることでしょう。主にあつて先に逝かれた加藤先生、やがて輝く天国で、私達を迎えて下さい。感謝しつつ、哀悼の辞といたします。

しばらく前に一枚のハガキが届きました。細かな文字がぎつしり詰り所々が赤文字で強調されたハガキでした。記された内容は「電波使用管理料未納代金回収代行：」云々と印刷されていました。心当たりはなく「はあこれだな、今世間を騒がせている架空請求詐欺やオレ、オレ事件の口は」と気付きました。そう考えながら、改めて読み返してみますと、やたらと難解な法律用語が使われ、いかにも尤もらしい巧みな詐欺文章が綴られていました。少しでも捜査の協力になればと思い、警察に届けておきましたが、それにしても嘆かわしい巧妙な詐欺事件は益々増加しているようです。年老いた人たちが狙って預金を電話とハガキという元手いらずの手法で奪い取る卑劣さは言語道断の行爲です。私の知り合いのある会社役員の方から聞いたお話ですが、その方が会社勤めの間に年老いた母親を狙って彼らは犯行に及ぼうとしました。幸いにも田舎のことですから郵便局員が大金の引き出しを不審に思い事情を確かめた所正に「振り込め詐欺」送金のための貯金引き出しだったそうです。事なきを得た一例ですが、「私は大丈夫」と思っ

### 牧師の一言

「うそ、偽りなく」

江尾キリスト教会

牧師 稲田 敏朗

主のお慰めとお励ましがご遺族と教会の方々に豊かにありますようにお祈ります。

# 主にある同労者 加藤博重先生の思い出

秋芳キリスト教会

牧師 松田 幾雄

「あなたがたがわたしを選んだのはありません。わたしがあなたがたを選び任命したのです。」

(ヨハネによる福音書 十五章十六)

十五章十六

「神は……世の愚かな者を選び……この世の弱い者を選び……無きに等しいものを選びました」

(コリント人への第一の手紙 一章二十七―二十九)

加藤博重先生は主にある同労者として、忠実な働き人として私の先輩であり、主の導きに従い茶屋町・岡山・湘南教会の牧師を勤められました。この間一教会の牧師にとどまらず、超教派の福音宣教に積極的に参加され、岡山時代は再臨待望同志会委員長、西日本宣教の集い実行委員として、ご指導下さり感謝でした。又、日本福音教会連合設立後、初代理事長として全体をまとめご指導下さり、山口福音教会をも問安し、よきメッセージをいただき感謝しています。



ゴルゴダの丘にて (前列中央 加藤牧師、右端 筆者、左端 亀谷師)

神のご摂理により、先生の牧会されました茶屋町・岡山・湘南教会での講壇に私も立たせていただき、主のメッセージを語る機会を与えてくださり、伝道者として育てて下さいましたことを感謝しています。

なつかしい思い出としましては、加藤先生・篤子先生と一緒に明治維新の里、又キリスト殉教の地、萩市を訪れたことです。

吉田松蔭が新しい日本の人材育成に使った松下村塾、それは小さな建物で、明治維新

## 加藤博重先生の思い出

岡山中央キリスト教会

信徒 平井 猛

に活躍した人物の写真が飾られていました。続いて萩城跡に、そしてキリスト殉教の記念碑。キリストを信じる信仰を命をかけて守りとおしたキリストの信仰に学ぶところで、互いに話し合いながら日本の福音化を語り合うことができました。

萩の地は私が趣味である釣りにとまどきでかける地であり、加藤先生も若い頃に魚

釣りをしたことがあるのと、是非機会があればいっしょに行きたいねと話しかけましたが、残念ながらその機会はありませんでした。

私たちには主から与えられた使命を全うするために、時が与えられています。主が許される地上の生活を最後まで善かつ忠なるしもべとして歩み続けていきたいものです。

一九六六年の夏、岡山ランドリー本社で特別集会有り、誘いがあり、(婚約中でした)参加したのが、先生との出会いでした。講師の名前や説教の内容は覚えていませんが、ゲストで来ておられた八尾市の高山さんのお証しで、証しの内容は？ですが、「忍びがたきを忍び、堪えがたきを堪え」と言われた言葉が私の日々であります。本当は妻の方かも知れません。先生に書いていただいた聖書の御言葉は、ヨハネによる福音書一五章一六節「あなたがたがわた

しを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。」です。

その年の九月一日、日曜日に、先生の司式で結婚式を挙げる事が出来ました。教会ではなかつたので、先生には今ふりかえってみれば、大変ご迷惑をおかけしたものと反省しています。先生は多忙な日々の中でも、私共をやさしく見守り、励まし、そしてキリストへと導いて下さいました。翌年、一九六七年一月二日に長女が与えられ、この子が成長したころ民が栄え

ている人が結構被害に会うケースが多いようです。

「箴言」三〇章七節、八節には「わたしは二つのことをあなたに求めます、わたしの死なないうちに、これをかなくてください。うそ、偽りをわたしから遠ざけ、貧しくもなく、また富みもせず、ただなくてはならぬ食物でわたしを養ってください」と記されています。この願いを神様に願った人は、マツサの人 ヤケの子アグルという人ですが、深い感動に満ちたみ言葉がこの後も続きます。「うそ」と、「偽り」はその人の人格を損ないます。私たちもアグルの祈りに倣う者になりたいものです。以前、前島誠著『うしろ姿のイエス』という本を読みました。江戸幕府の禁教体制の中にありながら、危険を冒して隠れ続けた、隠れ切支丹のことが書かれていました。彼らの子孫は親子七代に及ぶ長い潜伏期間を経て生き残ってきたのです。つまり、自分の心の奥に大事にしまつてある信仰に逆らつて、心ならずも「踏絵」を踏んでしまったのです。この切支丹たちは確かに「うそ」をついて生きのびたのですが、彼らの目には悲しみと後悔の涙がありました。悪い、申し訳ない知りながら、つく「うそ」もあるのです。然し、クリスチャンは可能な限り「うそ」と「偽り」は避けなければなりません。ヤケの子アグルのようにお祈りしたいものです。

る様にと「民衆」と命名しました。先生は自分の孫の様に可愛がってくださいました。その年のクリスマスに私は受洗しました。当日三人の人が受洗しましたが、あとの二人は現在音信不通です。先生は、いつもバイクで遠い所は金光町の方へ家庭集会、その他信者さんの家庭を訪問されていました。多忙な毎日でしたが先生は月に一度刑務所、又、少年院へと訪ねておられました。私も、夜勤の仕事から帰って一度だけ少年院につれて行っていただいたことがあります。正直、恐怖を感じましたし、更生するのかなと思ったりもしました。刑務所にも三回ほど、クリスマス時期でしたがつれて行っていただきました。ここでは訪ねた私より受刑者の人達の方が生き生きとしているように感じました。講堂に入り、讚美を歌い、先生のメッセージも聞かせていただきました。受刑者の人達は



岡山中央キリスト教会時代の加藤博重師（前列左端）、一人おいて右が筆者

ほとんど泣いていました。私自身も、日々罪を犯します。その都度イエス様にゆるさされていますが、刑務所の中にいるか、外にいるかのちがいではないかと思えます。今の日本はどこか狂っているようです。日々殺人のニュースが流れていきます。今こそ神様の愛が、福音が多くの人に伝わることを祈らずにはおれません。加藤先生の思い出は尽きませんが、新聖歌二九二番「もしも私が苦しまなかったら、神様の愛を知らなかった」を口ずさむ今日です。

- ◆ 湘南教会の加藤博重先生は、去る三月二十四日、愛する主の御許に召されました。享年七十七才。御遺族の皆様方のお慰めをお祈りいたします。三月二十七日の告別式には連合を代表して、太田正信理事長が告別メッセージをいたしました。
- ◆ 米子キリスト教会の青木京子先生は、四月二十五日、横浜市の慶友病院にて手術をし、順調に回復して、五月二十三日、退院いたしました。しばらくは妹さん宅にて療養いたします。
- ◆ 岡山中央キリスト教会では四月十六日（日）のイースター礼拝にて、佐々木美知子姉と矢吹得子姉の洗礼式を行いました。ハレルヤ。
- ◆ 四月二十日の日本キリスト教連合会の総会に、亀谷莊司先生御夫妻が出席しました。（於、市ヶ谷ルーテルセンター）
- ◆ 太田正信理事長は、五月一日（月）東京、淀橋教会にて行われました、日本福音連盟の常任理事会に出席し

### 報告・案内

- ◆ 湘南教会の加藤博重先生は、去る三月二十四日、愛する主の御許に召されました。享年七十七才。御遺族の皆様方のお慰めをお祈りいたします。
- ◆ 尚、六月十一日（日）十三日（火）に行われます第四〇回日本福音連盟総会及京都大会にも出席します。（於、京都聖徒教会）
- ◆ 美保キリスト教会の阿部多鶴姉と、柏倉嶺兄は、五月六日、東京、品川教会にて結婚式を挙げられました。おめでとうございます。
- ◆ 関東地区では、三月二十一日（火）、春の聖会を市ヶ谷ルーテルセンターにて行いました。
- ◆ 東中国地区では、五月三日（水）・四日（木）、東中国地区聖会を岡山中央キリスト教会にて行いました。
- ◆ 西中国地区では、四月二十九日（土）、山口聖会を山口福音教会にて行いました。
- ◆ 岡山中央キリスト教会の片山ひさ子姉は、五月十七日、愛する主のみ許に召されました。享年九十五才。ご遺族の皆様方のお慰めをお祈りいたします。
- ◆ 茶屋町復活教会では、五月二十八日（日）、大阪ルーテルネス教会牧師 地濃誠治先生をお迎えして特別伝道集会を行いました。

### 2006年 夏季聖会

2006年8月1日(木)~3日(木)

特別講師  
日本ホーリネス教団委員長・狭山教会牧師  
内藤達朗先生

岡山県総社市  
国民宿舎 サンロード吉備路



◆ 多数御参加下さい。◆ 今からお祈り下さい。